

2021~22年度
国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1601 / 2022. 3. 4

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報

Weekly Report

2021~2022年度クラブテーマ

会長 河邊 幸夫

「みんなで親睦・奉仕 楽しく規律ある例会」

本日の例会：2022年3月4日 通算1627回 本年度 第28回

卓話：イニシエーションスピーチ 佐藤 浩也 氏

● 第1626回 例会報告／2022年2月25日

出席報告：会員52名 出席31名（内ZOOM4名）

ゲスト：イミン 計1名（敬称略）

卓話：

イニシエーションスピーチ

小川 大介 氏



誰もが
自分の可能性から
目を逸らさなくていい
社会をつくる

素材図書 代表取締役 小川 大介 Ogawa Daisuke



2月25日 18件 36,000円 累計892,000円 多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

河邊幸夫/穂苅裕久/福田栄二/岩上義明/高須康有/小林博茂/ティエリ・コンシニ/入沢頼二/石井謙次/吉岡琢磨/日高利美/佐藤浩也/森本勝好/藤井万博/長谷川毅/関陽一/谷口友保/大城正裕

今後 の予定	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	3月11日	18:30	B1F ギャラクシー ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	夜間例会・ファミリーデイ
	3月18日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：防衛省防衛研究所主任研究官 山添 博史 氏
	3月25日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：能楽師 佐久間 二郎 氏
	4月1日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：イニシエーションスピーチ
	4月8日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：鮎佐 五代目店主 大野 佐吉 氏
	4月15日	12:30 14:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会 クラブ協議会	クラブ協議会
	4月22日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	東京麻布RCと合同例会（麻布RC主催）

昨年7月より会員として東京赤坂ロータリークラブへお迎えいただきました、小川大介です。河邊幸夫会長と初めてお会いした日に意気投合し、瞬く間に入会まで至りました。このご縁に感謝しつつ、本日はイニシエーションスピーチということで、私の生い立ちと現在の事業をお話しさせていただきます。小川大介に少しでも関心を持っていただける時間となりますことを願っております。

まずは私の生い立ちからですが、1973年3月2日に大阪府南河内郡太子町に生まれました。

「太子」町の名の通り聖徳太子のお墓がある町で、子ども時代の遊び場は推古天皇陵や小野妹子の墓など飛鳥時代の歴史遺産でした。父は熊本の八代（正確には葦北郡芦北町田浦）出身で、集団就職で大阪に出てきて繊維系中堅商社を勤め上げました。その会社で出会った母は、趣味が高じて琴・三味線・地唄の師範となり、家で教室を開くことに。サラリーマン家庭のささやかな家ですが、こじんまりとした居間の襖一つ向こうから邦楽がいつも流れてくる環境で育った私は、三兄弟の長男で年子で二卵性双生児の弟と妹がおります。母は1年足らずのうちに子供が3人になってパニックを起こしながら子育てしていたと今でも口にします。

家族は妻と息子1人で神戸在住。私は東京での仕事が多いので六本木に仮住まいの、2拠点生活です。妻の菜穂美（なおみ）は京都出身で仕事で出会いました。料理が大変好きで、いつの間にか和洋中エスニックにスイーツ、パンまでなんでも作れる人になっています。最近は生パスタまで！神戸に帰るたびに確実に太っていく私ですが、料理に关心ある方、インスタグラムをされている方はぜひ@naomi_10.21（なおみのきっちん）をフォローしてあげてください。

息子の璃久（りく）は神戸の灘中学に通う中学3年生です。私たち家族は息子が幼稚園に入るタイミングで東京に出てきました、自由が丘にて彼が小学校卒業まで暮らしておりました。中学受験では幸い、灘、開成、筑波大附属駒場と受験した学校全てから合格をいただき、本人の希望通り灘へ進学。数学好きでマイペースなのはほんとしたキャラですが、最近判明したこととしては乃木坂46（スライドでは48となっていました。オジサンの無知がバレました）のファンということで、父としては息子が健全に可愛い女子に目が向いていることを喜んでいる次第です。スライドでは灘中入試の前夜ホテルでの息子の様子をご紹介しましたが、緊張感のかけらもなく力を発揮できるあたり、将来を楽しみにしているところです。ちなみに彼は小4から「おじやる丸」のファンとなり、自分のことを「まろ」と呼称するようになりました。

そのあおりを受け、「お父さん」で始まった私の呼び名も、だいのすけ→もちのすけ（お腹がもちもちしているから）→おとのすけ→おとう、を経て今は「まる」で定着しております。

時々、彼なりの丁寧さで「おまる」と呼ばれることだけは困ったもので・・・

さて私自身の経験ですが、中高は大阪の私立・大阪星光学院中学校高等学校に進学しました。小学生からの夢が弁護士ということで、志望通り京都大学法学部に現役合格いたしました。この瞬間までは私も「エリート」の道を歩んでいたのだと思います（笑）。

京都で一人暮らしを始めた早々に塾講師バイトをスタート。弟妹の学費のことも考え親からの仕送りを最初から断って私としては生活費を稼ぐことが急務でしたから、できるだけ時給の高い仕事を選んだ次第です。国語が得意科目で大学受験前から塾・予備校でバイトすることを計画していた私は、指導法についてもある程度考えていたため、早くから高評価をいただくことができました。人生初バイトが時給5000円、2回生（関西の呼び方です）からは関西最大手塾（当時）の浜学園にて中核講師の一人として瞬く間に待遇も上がり20歳のころには時給2万円をいただくまでになりました。

20歳前後で年収600万、700万を簡単に手にしてしまった私は、木屋町・先斗町に入り浸る日々を開始します。19歳の時でした。はい、私のエリート人生はここで終幕を迎えます。その後は塾で深夜までバイトする→木屋町界隈で飲み倒す→朝日と共にふらふらと帰宅→昼すぎまで寝る→塾バイト→・・・の毎日。「司法浪人」という大変便利な隠れ蓑をかぶりながらきっちり8年間学生を務め上げた上で卒業。そのままフリーターとして塾講師を続けていました。

が、さすがに自堕落な生活を続けていてもということで、塾講師仲間と中学受験専門のプロ個別指導教室SS-1（エスエスワン）を大阪で立ち上げます。旗振り役だったこともあり一番の若輩だった私が代表に就任しました。26歳のことです。このSS-1は関西の中学受験業界を代表する講師たちが集まった特別な塾でしたから、圧倒的な成果が出ると誰もが疑っていました。

ところが！1年目の結果は惨憺たるものでした。成績は上がらない、合格を見込んでいた子は落ちる。代表として頭を下げ続ける毎日は今も忘れられません。一体何が問題だったのか、代表として考え、観察し、ビジネス書や心理学、脳科学の本からヒントを探していくことで浮かび上がったのは、「聞く」ことの欠落でした。トップ講師として授業力に絶対の自信を持っていた私たちは、教える・話すことは一流でしたが、「聞く」力が圧倒的に不足していました。そのため集団指導では成果を上げられても、目の前の1人の子を間違いなく伸ばすことはできませんでした。その子のことを深く知る努力が欠けていたからです。そこで取り入れたのが2001年当時、まだ日本に伝わってきたばかりの「コーチング」です。対子どもには科目指導の中で生かし、対保護者には毎月1家族1時間の徹底した個別面談を実施して、その子の癖や育ち、家庭環境などを多角的に掘り起こし、伸びる手立てを探る努力を重ねました。

毎月 100 件を超えるコーチングセッションを経て私が手に入れたのが、「学習タイプ」を見抜いてその人に最適な学び方をアレンジするノウハウです。学習タイプとは、人が誰しも持っている、情報を取り入れる時の脳の癖を「視覚タイプ」「聴覚タイプ」「身体感覚タイプ」に区分し、それぞれのタイプに応じたコミュニケーション手法を最適化する考え方です。

たとえば同じ算数の速さの問題を教えるにも、図を用いてビジュアルに訴えた方が理解しやすい子、言葉の定義を積み上げて順に説明されることを好む子、理屈より実際の場面をイメージして体感するように学ぶ方が身につく子と、その子のタイプによって教え方を変えていくようにしました。その結果、生徒たちの成績アップに弾みがつき2年目からはどこにも恥じない合格実績を重ねています。

そして 2008 年に東京へと進出、自由が丘、白金台、成城学園前に教室を開いていきます。メディアからも注目いただき、教育系の雑誌（プレジデントファミリー、エラウイズキッズ他）、新聞、ウェブメディア、テレビに私の記事が恒常に取り上げていただけるようになりました。書籍出版の機会もいただき、現在書籍は 26 冊累計 30 万部以上、メディア露出は年に 100 本以上、個別面談は 6000 回を超え、灘・開成・麻布・桜蔭・慶應その他難関中学に合格した教え子は 3000 名を超えるまでになりました。

こうして、中学受験指導者として世に知られる存在となった私ですが思うところあり、2018 年に SS-1 代表の座を降り、株式も全て手放し、「教育家」として独立することを選びます。多数の子どもたちを見てきて、幼少期からの育ち方がいかにその後の成長を決めるかを痛感したからです。その子の個性を理解し、隠れた才能を見つけ出せる大人が近くにいたら、また親御さんたちにその知識があれば、どれだけ多くの子が本来の力を發揮して、自己肯定感を高めながら育つていけたことか。学習に限らず自分の持ち味を活かして、その子なりの活躍、喜びを手に入れられたことか。私の持つ知識と知恵をもっと早い段階でお伝えしていれば、この子たちの伸び方はきっと違ったはずだ。何千人という小 4、小 5、小 6 生を見ているうちに、その思いが止められなくなってしまったのです。

そしていま私が世に伝えているのが「見守る子育て」という、子ども本来の力を見つけ出す体系的な知識です。「見守る」とは 3 つのフェーズから成り立ちます。第 1 は、当人が好む遊びや生活の中での癖、またこれまでの育ちの中で培ってきた経験などから隠れた才能を見つけ出す「才能発見」のフェーズ。第 2 は、当人に最適な学び方を教えてる「学習技術」のフェーズ。そして第 3 が、当人の能力発揮のスタイルに応じて周囲の関わり方を最適にデザインする「環境設定」のフェーズです。

この「見守る」は、人の脳の使い方、人格形成のプロセスに合致したものですから、実は子どもだけでなく大人に対しても有効なアプローチです。実際私はこれまで、ご縁あった企業様の人材育成、組織課題の改善のご依頼に対し、この「見守る」アプローチによって成果を上げてきました。

そんな私、株式会社素材図書が今年 2022 年に世に提供していく重要なサービスが 2 つあります。1 つは「見守る・子どもの才能診断」。もう一つが「見守る・法人向けサービス」です。

【見守る・子どもの才能診断】

これまでお子さんの才能発見については、個別の子育て・学習カウンセリングにおいて提供してきたのですが、お受けできる数が非常に限られていること、また私が担当することで費用がかかってしまうことが悩みでした。その解決として、私の才能診断ノウハウをシステム化し、親御さんが簡単なアンケートに答えるだけで、その子の学びの傾向や対人関係の特性など、隠れた才能が浮き彫りになる診断サービスを開発することにしました。1 コイン(500 円)で気軽に受けいただける設計とし、一部の教育熱の高いご家庭だけでなく、これまで私がお手伝いできなかったより広い層にお役立ていただく予定です。

【見守る・法人向けサービス】

コロナの影響もあり、メンタルヘルスを損なって休職、離職する人が増大の一途と報道されています。またパワハラ、セクハラなど各種ハラスマントの問題も経営層にとって無視できない重大な問題となっています。弊社の「見守る」アプローチは、その人の本来の力を発見し、環境設定することで当人とチーム双方のパフォーマンスを改善向上させることができます。実際、これまでお手伝いしてきた企業様では社員相互の理解、マネージャーと部下との意思疎通が改善し、業務成果を上げつつ残業は減るといった目に見えた成果が表れています。

弊社がモットーとしているのは、「努力なしで成果を上げる」ということ。自分本来の学び方、力の発揮の仕方を再認識し、自分自身の活かし方を知ること、そして所属チーム内で相互にお互いの活かし方を知ることで、特別な訓練を経ることなく今よりもパフォーマンスを高めていただくという方針です。心身ともに高い負荷がかかっている現代の人々にとって、特にメンタルヘルスを損なっているような方にとって、「さらにがんばれ」という要求は酷なものであり、現実的ではありません。小川大介がこれまで数多くの子どもたち、そして親御さんたちを支えてきたノウハウを活かして、企業様の悩みに貢献していくことを志しております。

以上、私小川大介のつたないお話をしましたが、これを機に少なりとも関心を持っていただけますと幸いです。また次期理事も拝命しておりますのでロータリー活動もますますがんばっていきたいと思います。応援のほどなどよろしくお願ひいたします。

2022 年 2 月 25 日 株式会社素材図書 小川大介